



街中にみるM&A ローソンと成城石井



街中にみるM&A ローソンと成城石井

今年もボジョレー・ヌーボーの季節がやってきました。解禁日は11月17日（木）。最近コンビニやスーパーでも予約受付のポスターやパンフレットをよく見かけますよね。先日立ち寄ったナチュラルローソンでも予約を受け付けていました。

家飲みが増えてきた影響もありますが、なかなか充実したワイン売り場です。店内を物色すること、数分。こんな「ボルドー金賞受賞ワイン」の3本セットや、おつまみにもぴったりのナッツやスモークソーセージ、チーズも並んでいます。

と、ここで、先ほどから目に入ってくるのが「成城石井」という文字。以前からナチュラルローソンでは成城石井の商品が取り扱われていましたが、ここまでのバラエティー豊かな品揃えは、2014年9月にローソンが成城石井を約550億円で買収したことが契機となっていると考えられます。

【次のページ】 ローソン×成城石井に期待したいこと

ローソン×成城石井に期待したいこと

当時、丸の内キャピタルの傘下にあった成城石井を巡っては、ローソンとともに、三越伊勢丹ホールディングスとイオンが有力候補でした。都心部を中心に毎年約10店のペースで着実に店舗数を増やしていた成城石井は、経常利益率は6%強とスーパー業界でも優秀な企業の一つであっただけに、その行く先には注目が集まっていました。

＜成城石井 店舗数の推移＞

※「成城石井」ホームページのデータを元に作成

そんな人気者の成城石井を手に入れたローソン。全国的に見ると、関西・山陰・山陽エリアに店舗が多いローソンにとって、関東、特に首都圏に強い成城石井は頼もしい味方となったはず。路面店だけでなく、駅ビルやデパ地下、オフィスビルなど、多様な条件に対応した店舗形態を展開することで出店スピードを上げていった成城石井。その対象はコンビニ跡地も例外ではありません。東京・日本橋にある成城石井日本橋一丁目店は、ローソン直営店舗からの業態転換1号店とのこと。2015年8月末まではナチュラルローソンでした。ローソングループとなった今、成城石井のブランド力を活かした業態転換が今後もなされていくのではないのでしょうか。

成城石井日本橋一丁目店

また、成城石井の商品開発力もローソンにとっては大きな魅力だったに違いありません。プロの味が堪能できる惣菜や、しっかりと目利きされたワインなどの輸入品、こだわりのオリジナル商品など、ちょっと価格が高くても満足度の高い商品たち。

プレミアムチーズケーキや手巻納豆といった成城石井で人気のオリジナル商品がローソンの各店舗でも買うことができたなら……、消費者としてはうれしい限りですね。

文：M&A Online編集部